

清野貞代第18代同窓会長お別れ会



たくさんの同窓生の皆様にご出席いただきありがとうございました。

ご出席がかなわなかった同窓生の皆様にお別れ会の様子をご報告いたします。

2022年9月10日(土)、6月15日に急逝された清野貞代第18代同窓会長のお別れ会を催行いたしました。会場の本学礼拝堂には、117名もの同窓生、関係者の方々がお集まりくださり、佐々木哲夫学院長(同窓会名誉会長)の司式のもと、礼拝をもって清野会長を偲び、神の御許での安らぎをお祈りいたしました。

長井祥子前会長のお別れの言葉では、宮城学院中学・高等学校の若き音楽教師として過ごされた清野会長が、「私の指はショパンもどぶさらいもするために神様からいただいたの」と生徒に語ったエピソードが紹介されました。音楽の指導はもちろんのこと、ひとりひとりの生徒の可能性を育てあげるために、身を挺して働かれたお姿が目につかぶようでした。

礼拝の後には、白木悦子会長代行の挨拶に続き、三友安紀子さん(音楽科副手)のオルガンによる「ハレルヤ」の献奏。思わず「ハレルヤ…」とかすかにつぶやく声も混じり、美しい花に囲まれた祭壇上の清野会長の遺影が微笑んで聞いてくださっているようでした。最期まで宮城学院への愛情をもって生き抜かれた清野会長の思いを、ひとりひとりが深い感謝とともに共有するひとときとなりました。(F・O)



会場の礼拝堂前



清野貞代会長



長井前会長のお話



礼拝堂の様子

(問い合わせ 同窓会事務局 279-6675)

